

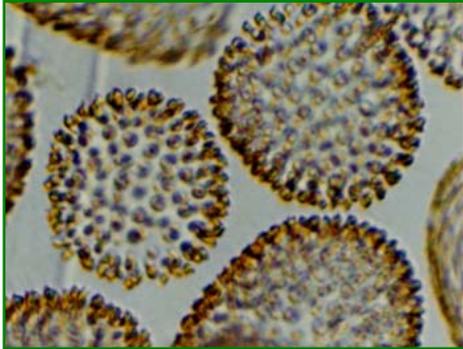
# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第47報～

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター  
環境生物担当  
平成18年2月20日

## 1. 最も数が多かった種類(優占種)

### 植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

### 動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。  
前部に2本の触角がある。

#### コメント

植物プランクトンは、先週に引き続きウログレナ(*Uroglena americana*)が多く計数され優占種となった。本種は1月30日の調査時から4週間連続して優占種となっており、この時期に長期間ウログレナが優占種となることは珍しいことである。動物プランクトンは、先週のスナカラムシ(*Codonella cratera*)に変わり、ハネウデワムシ(*Polyarthra vulgaris*)が140個体/l計数され優占種となった。また、ピコ植物プランクトンは、5,200細胞/mlと先週よりやや増加し、そのうち92%が黄橙色の種であった。

## 2. 見つけた主なプランクトンとその数(個体数)

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	140

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
肉質虫類	<i>Raphidiophrys</i> sp.	120

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター  
環境生物担当

## (2) 植物プランクトン

平成18年2月20日

第47報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	20		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	480	◎	
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	80		○
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	140		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	400	○	
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	100		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	20		◎
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	20	1.3	0.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	580	38.4	27.1
(珪) 珪藻綱	690	45.7	18.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	10.6	6.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	20	1.3	47.3
(他) その他のプランクトン	40	2.6	0.0
総 細 胞 数	1510	総体積	1.35E+06
種 類 数	14	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	2月20日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	5,200

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが $0.2\sim 2\mu\text{m}$ ( $1\mu\text{m}$ は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。